

県内主要小売店4月売上高

4社が前年上回る

県内に拠点を置く主要小売店5社の4月売上高実績(全店売上高)は、4社が前年同月を上回った。ごみ袋など石油由来の商品を買いだめする傾向が見られた。バローは、既存店売上高

が3・7%増と伸長。魚は鮮魚だけでなく、塩干しや漬け魚が伸びた。店内で焼き上げるパンや店内製造のフルーツデザートの人気が持続し、フルーツデザートは導入店舗を増やしている効果もあった。Vドラッグ

県内主要小売店
4月実績

	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	8.6	3.7	1.0
Vドラッグ	2.2	▲1.2	▲4.9
ホームセンターバロー	▲0.6	0.4	▲4.6
セリア	14.2	11.1	7.5
ヒマラヤ	0.9	0	

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。空欄は非開示

は、プラスチック原料のナフサの供給懸念から、食品包装用ラップとティッシュペーパーの需要が大幅に増加。ホームセンターバローは、気温の上昇で家電やプロ向けのリフォーム建材が好調だった。

セリアは、既存店売上高が11・1%増と2桁増だった。客数、客単価ともに伸びた。シールに加え、ごみ袋と食品保存袋が売れ、ごみ袋は30%増だった。

ヒマラヤは、寒暖差の影響で春物のアパレルが伸び悩んだが、シューズ

やバドミントンなどラケットスポーツ用品は好調だった。